

土砂災害ハザードマップ

① スウェーデンヒルズ地区



縮尺1 : 10,000

0 150 300m

凡 例

土砂災害警戒区域

急傾斜地崩壊危険箇所指定
特別警戒区域

土石流危険渓流指定
特別警戒区域

避難経路

指定緊急避難場所

指定避難所

AED設置箇所

病院

国道

地区界

道道

市町村界

土砂災害警戒情報とは

大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに警戒を呼びかける情報で、北海道と気象庁が共同で発表しています。周囲の状況や雨の降り方にも注意し、土砂災害警戒情報等が発表されていなくても、危険を感じたら、躊躇することなく自主避難をしましょう。

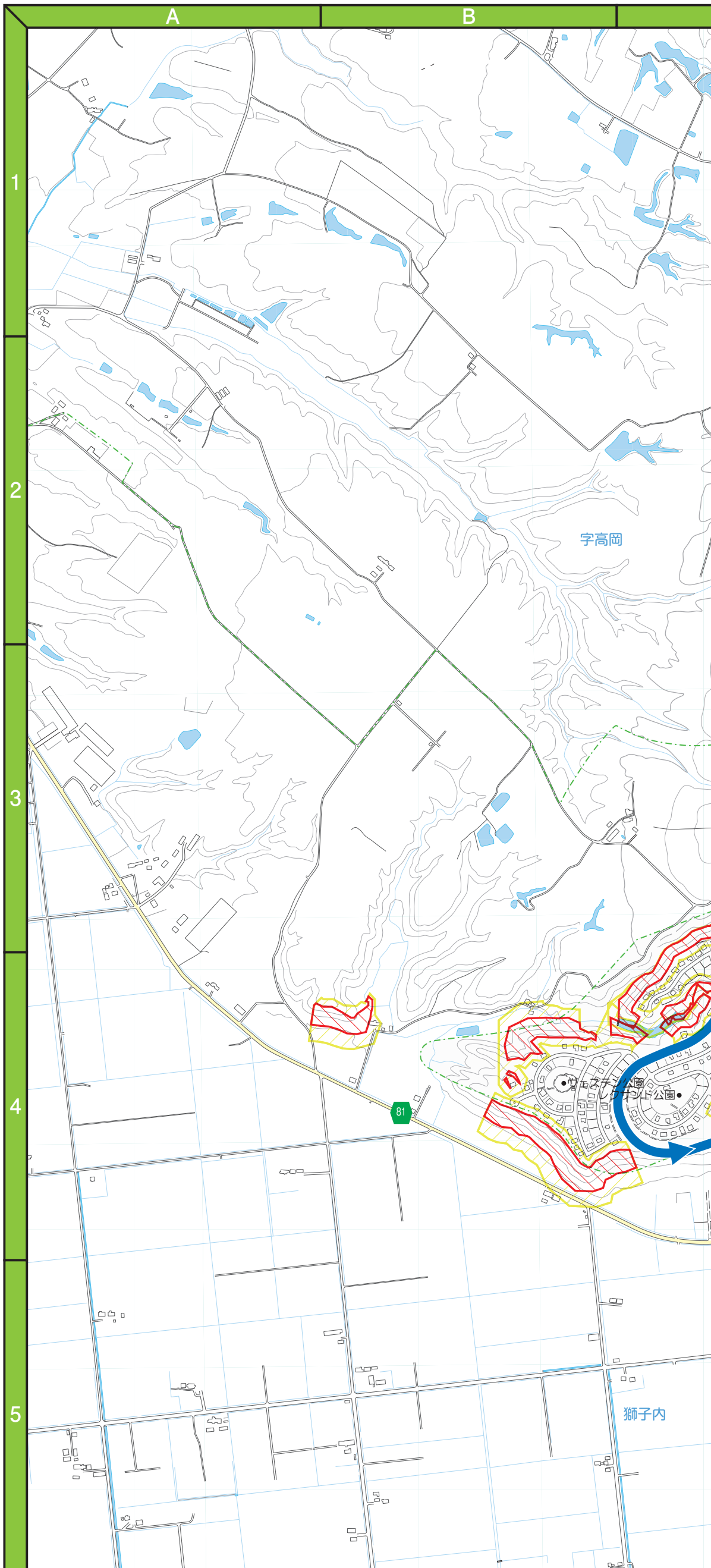
土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

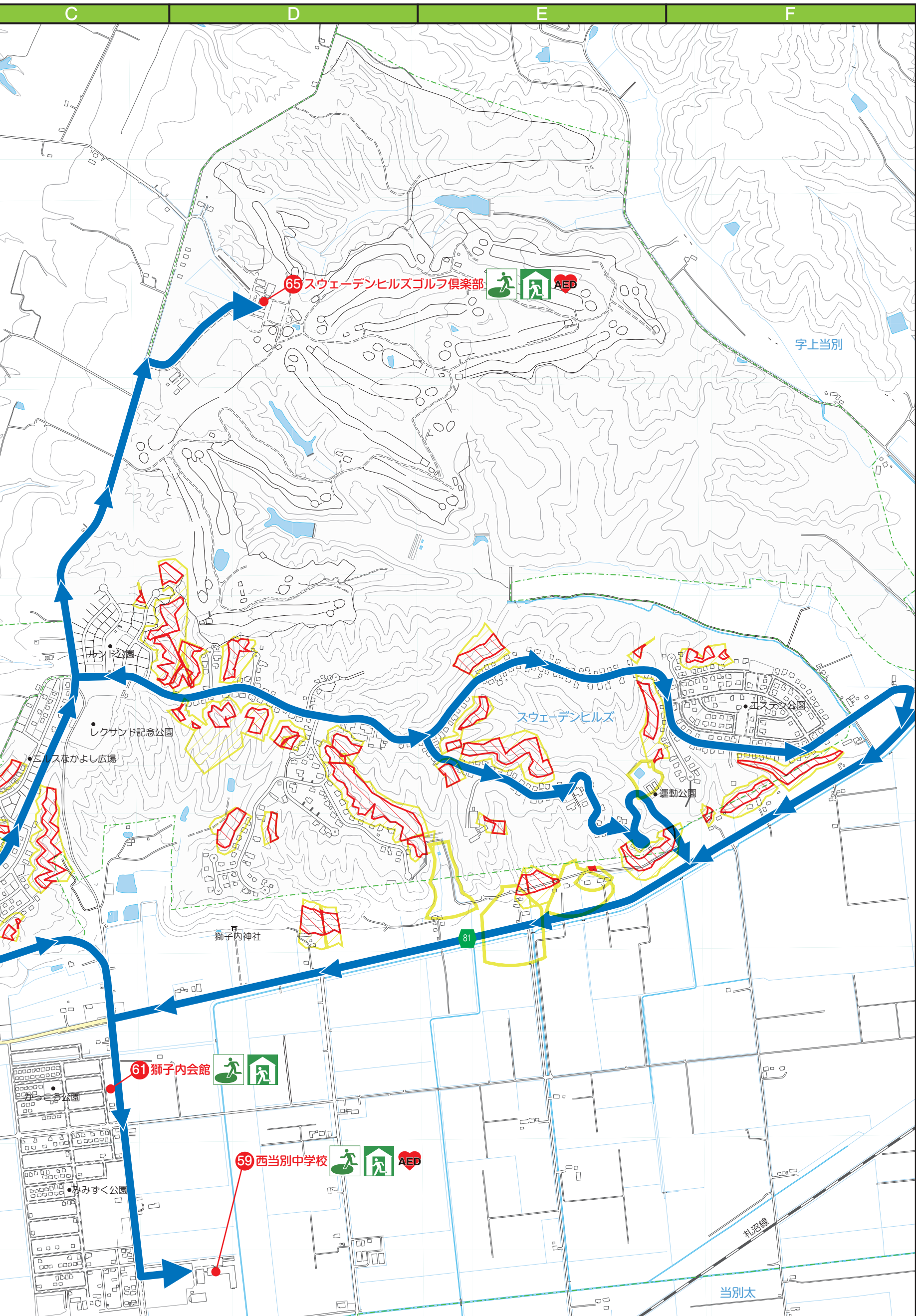
住民等の生命又は身体に**危害が生ずる**
おそれがあると認められる土地の区域

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

住民等の生命又は身体に**著しい危害が生ずる**
おそれがあると認められる土地の区域

土砂災害の種類	地図上の表示
急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)	 土砂災害特別警戒区域
傾斜度が30度以上である 土砂が崩壊する自然現象	 土砂災害警戒区域
土石流	 土砂災害特別警戒区域
崩壊した山腹や溪流の 土石等が流下する自然現象	 土砂災害警戒区域





洪水

土砂

地震

避難所等情報一覧

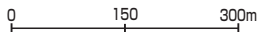
共通

土砂災害ハザードマップ

② 金沢地区



縮尺1:10,000



凡 例

土砂災害警戒区域



急傾斜地崩壊危険箇所指定
特別警戒区域



土石流危険渓流指定
特別警戒区域



避難経路



指定緊急避難場所



指定避難所



AED設置箇所



病院



国道



地区界



道道



市町村界

土砂災害警戒情報とは

大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに警戒を呼びかける情報で、北海道と気象庁が共同で発表しています。周囲の状況や雨の降り方にも注意し、土砂災害警戒情報等が発表されていなくても、危険を感じたら、躊躇することなく自主避難をしましょう。

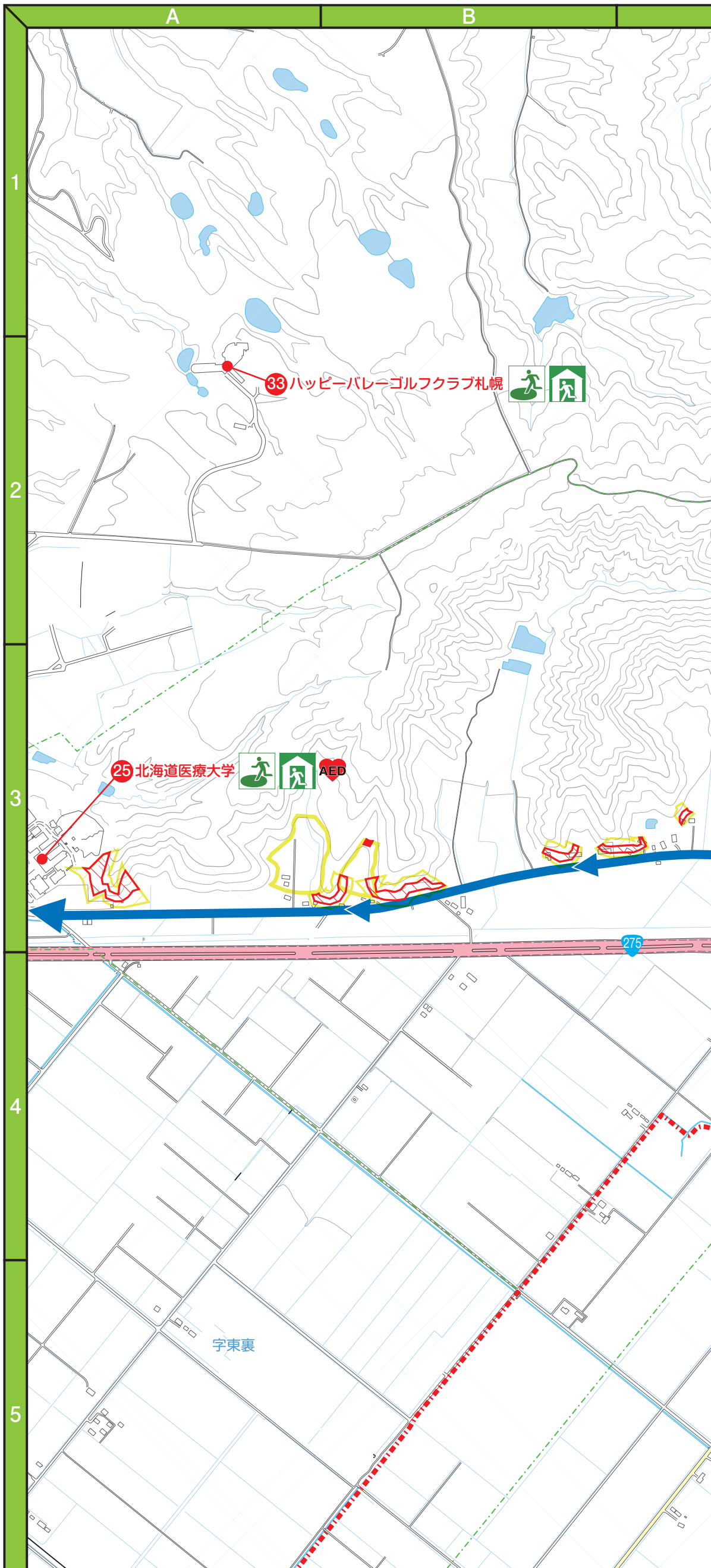
土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

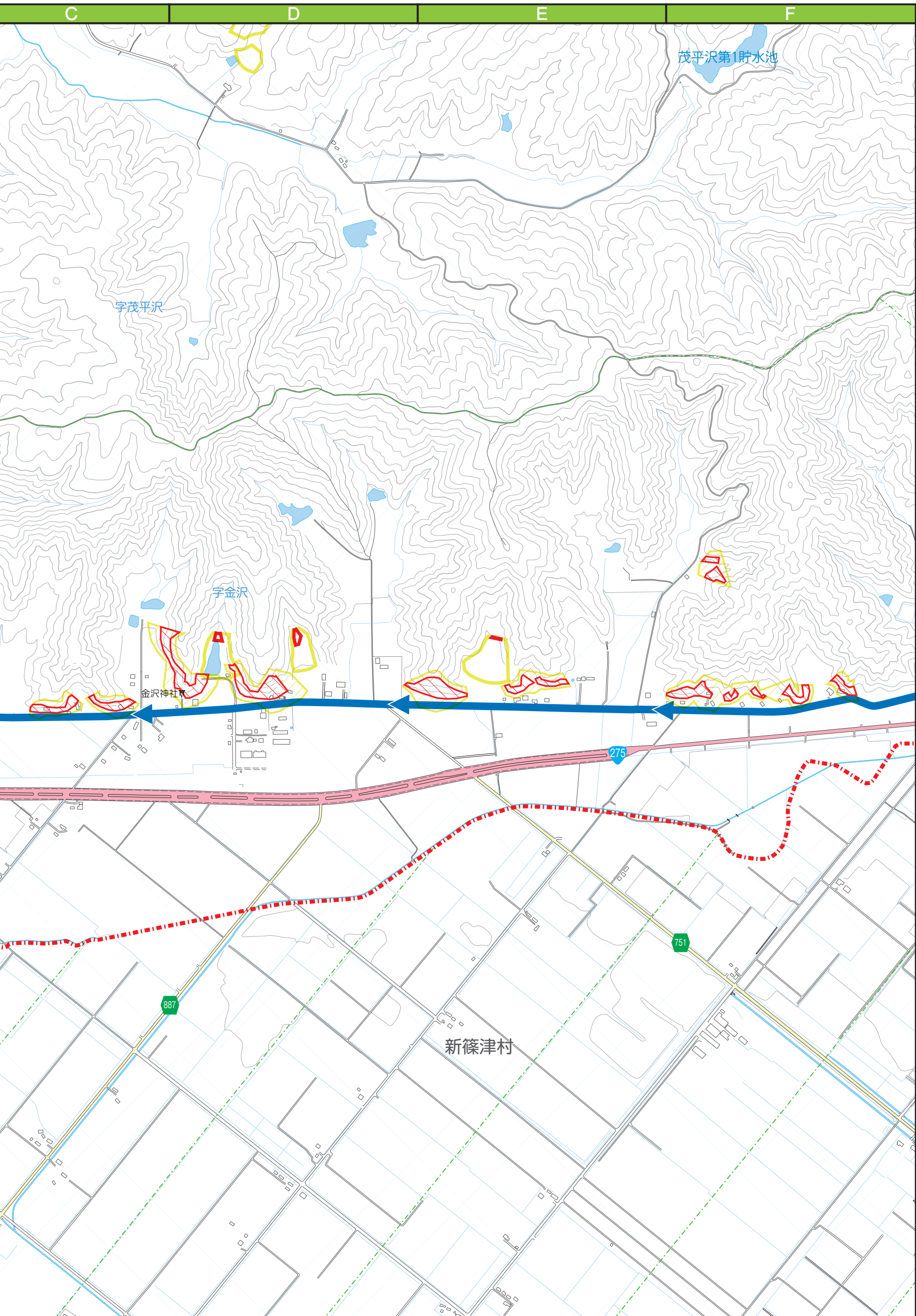
住民等の生命又は身体に**危害が生ずる**
おそれがあると認められる土地の区域

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

住民等の生命又は身体に**著しい危害が生ずる**
おそれがあると認められる土地の区域

土砂災害の種類	地図上の表示
急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)	<p>土砂災害特別警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域</p>
傾斜度が30度以上である 土石が崩壊する自然現象	
土石流	<p>土砂災害特別警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域</p>
崩壊した山腹や溪流の 土石等が流下する自然現象	





洪水

土砂

地震

避難所等情報一覽

共通

土砂災害ハザードマップ

③ 茂平沢地区



縮尺1 : 10,000

0 150 300m

凡 例

土砂災害警戒区域



急傾斜地崩壊危険箇所指定
特別警戒区域



土石流危険渓流指定
特別警戒区域



避難経路



指定緊急避難場所



指定避難所



AED設置箇所



病院



国道



地区界



道道



市町村界

土砂災害警戒情報とは

大雨警報(土砂災害)が発表されている状態で、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに警戒を呼びかける情報で、北海道と気象庁が共同で発表しています。周囲の状況や雨の降り方にも注意し、土砂災害警戒情報等が発表されていなくても、危険を感じたら、躊躇することなく自主避難をしましょう。

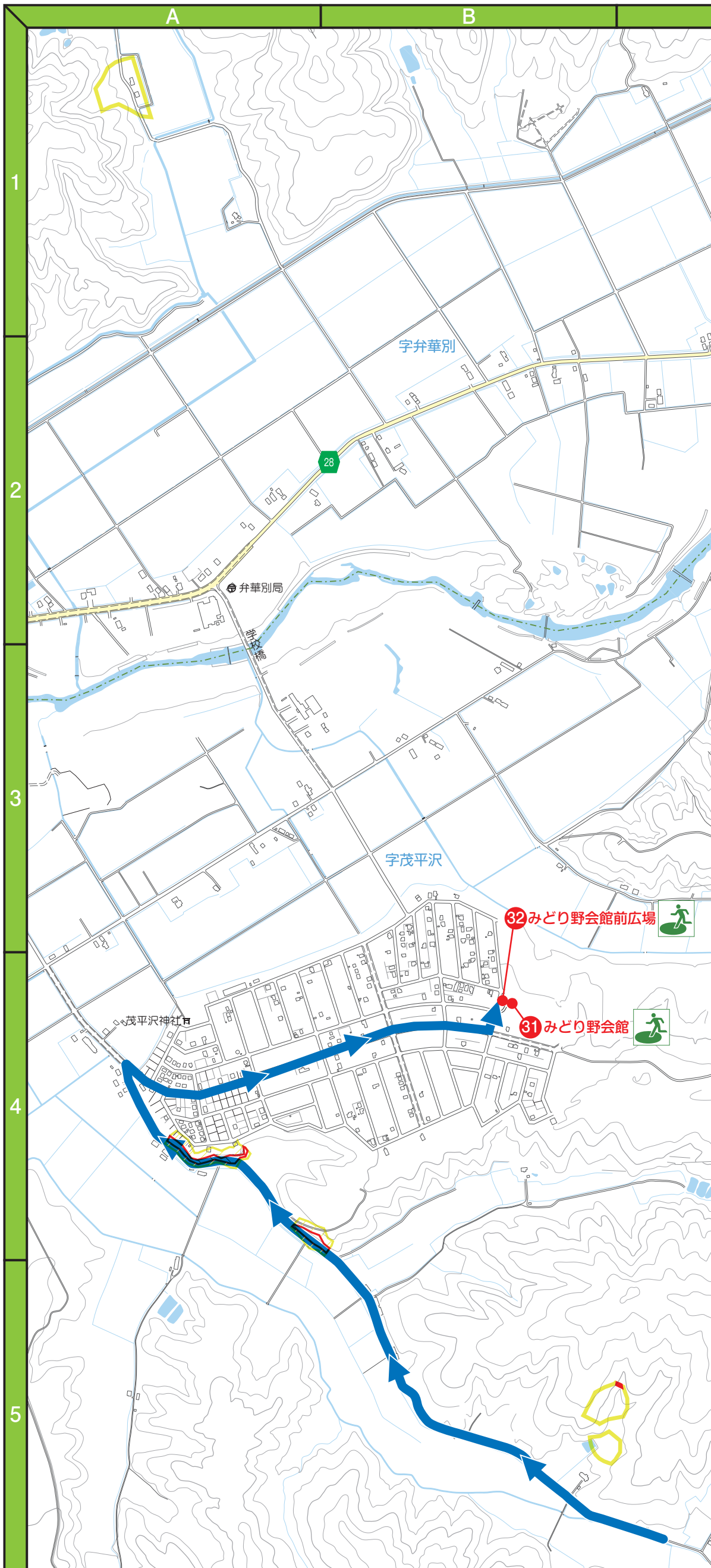
土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

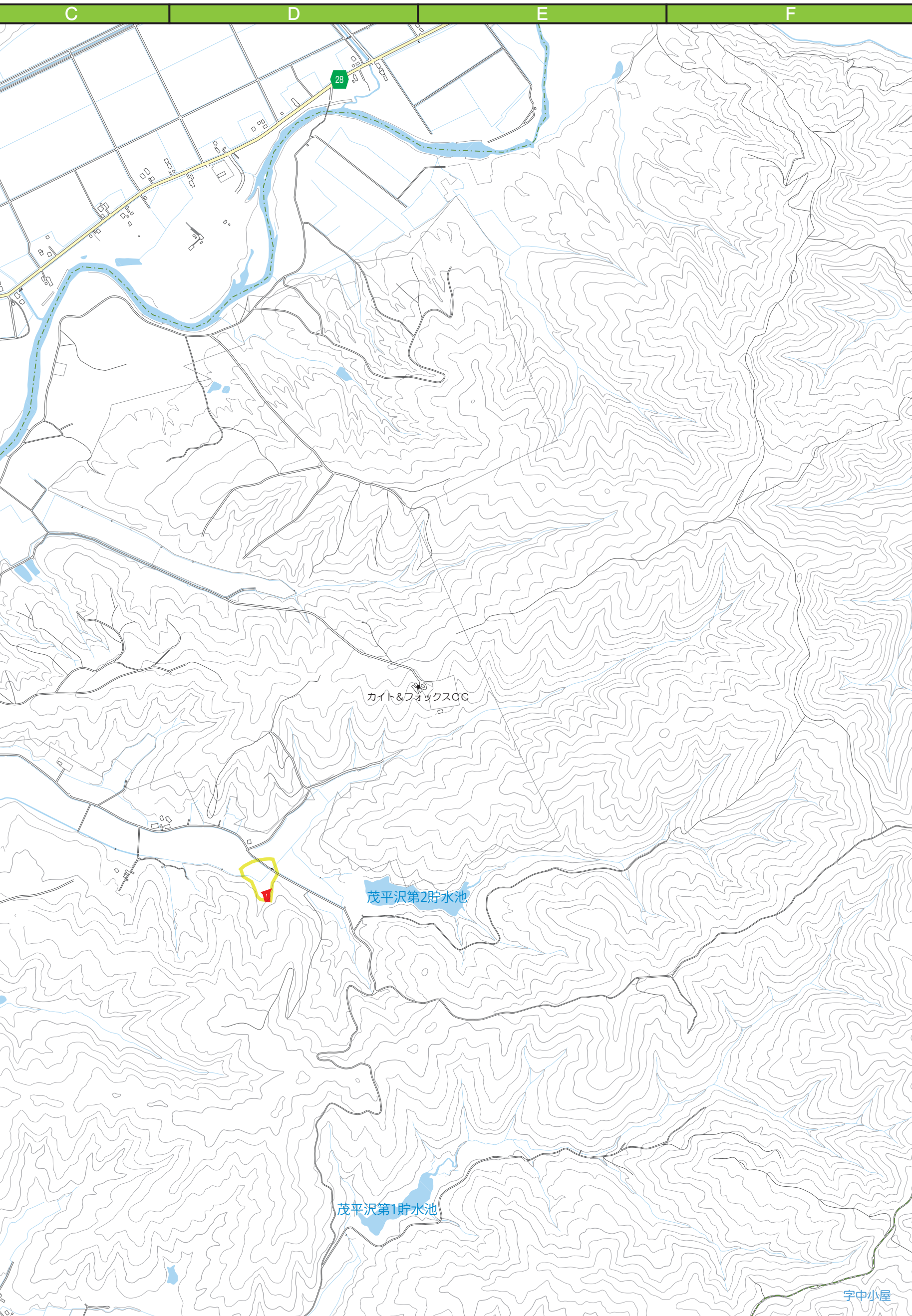
住民等の生命又は身体に**危害が生ずる**
おそれがあると認められる土地の区域

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

住民等の生命又は身体に**著しい危害が生ずる**
おそれがあると認められる土地の区域

土砂災害の種類	地図上の表示
急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)	<p>土砂災害特別警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域</p>
傾斜度が30度以上である 土砂が崩壊する自然現象	<p>土砂災害特別警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域</p>
土石流	<p>土砂災害特別警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域</p>
崩壊した山腹や溪流の 土石等が流下する自然現象	<p>土砂災害特別警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域</p>





洪水

土砂

地震

避難所等情報一覧

共通

土砂災害ハザードマップ

④ 中小屋地区



縮尺1：10,000

0 150 300m

凡 例

土砂災害警戒区域



急傾斜地崩壊危険箇所指定
特別警戒区域



土石流危険渓流指定
特別警戒区域



避難経路



指定緊急避難場所



指定避難所



AED設置箇所



病院



国道



地区界



道道



市町村界

土砂災害警戒情報とは

大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに警戒を呼びかける情報で、北海道と気象庁が共同で発表しています。周囲の状況や雨の降り方にも注意し、土砂災害警戒情報等が発表されていなくても、危険を感じたら、躊躇することなく自主避難をしましょう。

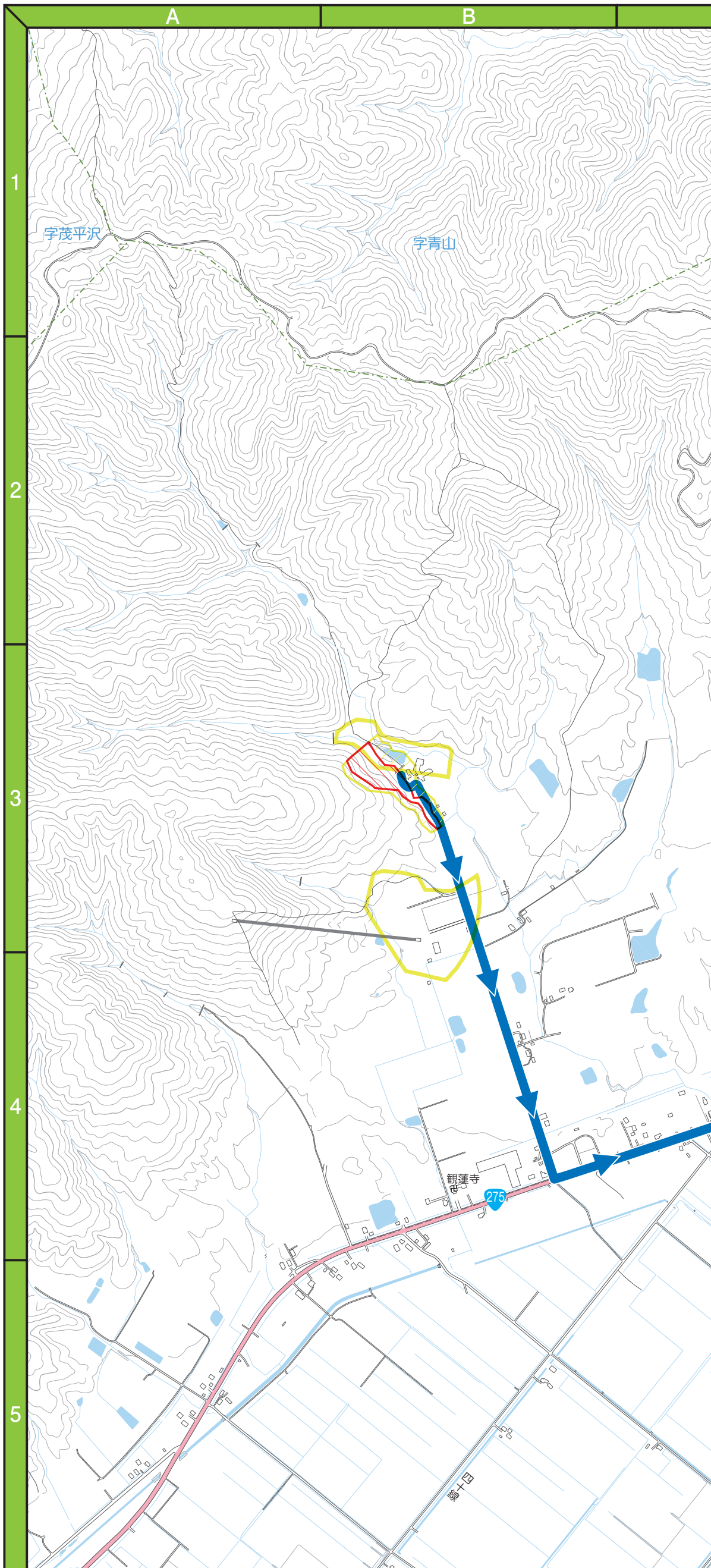
土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

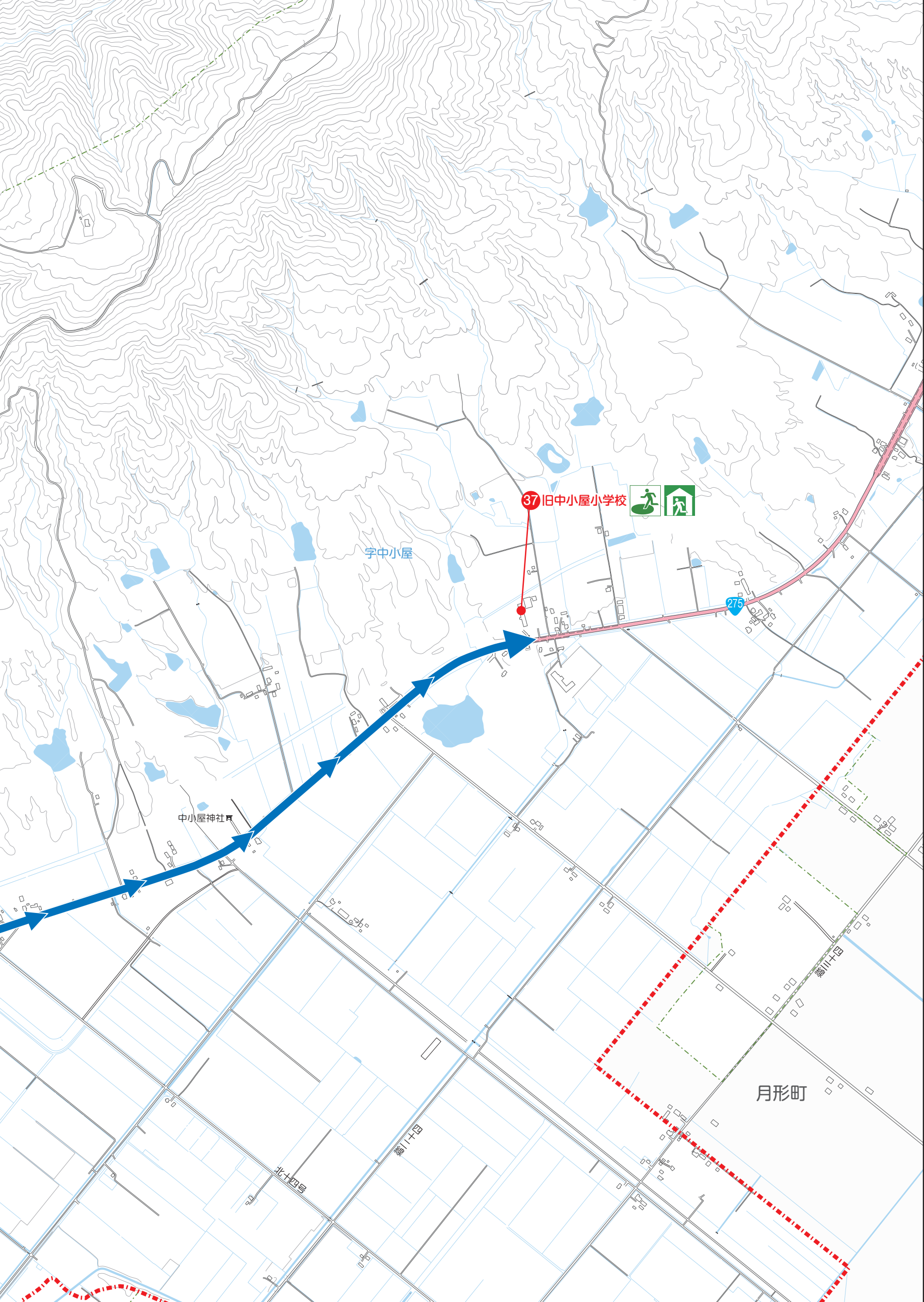
住民等の生命又は身体に**危害が生ずる**
おそれがあると認められる土地の区域

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

住民等の生命又は身体に**著しい危害が生ずる**
おそれがあると認められる土地の区域

土砂災害の種類	地図上の表示
急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)	<p>土砂災害特別警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域</p>
傾斜度が30度以上である 土砂が崩壊する自然現象	<p>土砂災害特別警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域</p>
土石流	<p>土砂災害特別警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域</p>
崩壊した山腹や渓流の 土石等が流下する自然現象	<p>土砂災害特別警戒区域</p> <p>土砂災害警戒区域</p>





洪水

土砂

地震

避難所等情報一覽

共通

地震発生！そんなときどうする

時間経過別に落ちついて行動しましょう

地震発生

緊急地震速報

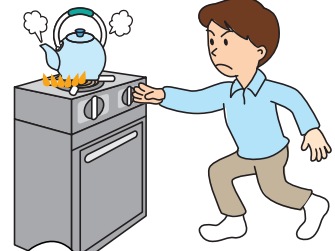
揺れを感じたり、緊急地震速報を見聞きしたら

- まず、手近な座布団などで頭を保護するなどの避難行動をとる
- 大きな揺れが来る前に、テーブルや机の下などで身の安全を確保する



揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱 靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、ブロック塀・自動販売機等に注意



みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- 隣近所に声をかけよう
- 隣近所で助け合う 災害弱者の安全確保
 - 行方不明者はいないか ●けが人はいないか

- 出火防止 初期消火
- 漏電・ガス漏れに注意 ガスの元栓・電気のブレーカーを切る ●余震に注意



ラジオなどで正しい情報を

- 大声で知らせる ●救出・救護を ●防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないように ●電話は緊急連絡を優先する
- 津波からの避難などやむを得ない場合を除き原則 車は使用しない



協力して消火活動、救出・救護活動を

- 災害情報・被害情報の収集 ●無理はやめよう
- 助け合いの心が大切 ●こわれた家に入らない
- 3日間分の飲料水と食料を日頃より備蓄しておく



状況に応じて避難しましょう

屋内にいた場合

家の中

- ・揺れを感じたらすぐに身の安全を確保する。
- ・ガラスの破片に注意！（裸足で歩かない）



- ・コンセントやガスの元栓の処置をする。

デパート・スーパー

- ・かばん、買い物かごなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

劇場・ホール

- ・かばんなどで頭を保護する。
- ・係員の指示を聞く。



集合住宅

- ・ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- ・避難にエレベーターは絶対使わない。階段で避難する。

※エレベーター乗車中は全てのフロアのボタンを押して下さい。

屋外にいた場合

路上

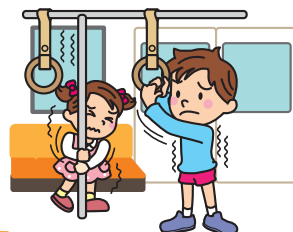
- ・頭をかばんなどで保護して、空き地や公園に避難する。
- ・空き地などが無い場合は、安全性の高い場所へ避難する。



- ・ブロック塀や自動販売機は、危険なので近づかない。

電車などの車内

- ・つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。

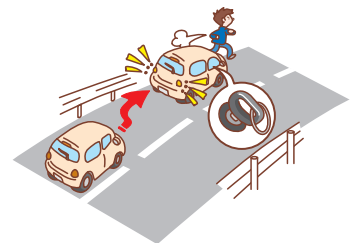


海岸付近

- ・高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報、警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

車を運転中

- ・スピードを落とし、道路の左側に停めエンジンを切る。
- ・カーラジオで情報を収集する。
- ・避難するときはキーをつけ、ロックをせず、貴重品を持ち徒歩で避難する。



地震は事前準備が命を守る

食器棚
扉には止め金具をつけ、棚板には滑りにくい材質のふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。

家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

テレビ
できるだけ低い位置に固定して置く。(家具の上はさける)

家具の転倒を防ぐ

タンス・本棚
金具や支え棒などで固定。

安全に避難するため、出入口や通路にもものを置かない

寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

震度の違いと被害想定

0		人は揺れを感じません。	5		家具が動いたり、食器や本が落ちたり窓ガラスが割れたりします。
1		屋内にいる人で揺れを感じる人もいます。	6		重い家具、ブロック塀や自動販売機が倒れることがあります。
2		屋内にいる人の多くが揺れを感じます。	7		自分の意思で行動ができない。地すべり、がけ崩れなどが発生します。
3		棚の食器が音をたてることがあります。			
4		寝ていてもほとんどの人が目を覚まします。			